

「能力記述文の形で示した国の学習到達目標（試案）」について

■ 「試案」の考え方

- 今回、現行の学習指導要領（英語）を前提として、その学習内容を「～することができる」の形式で書き換えたものを「試案」として提示した。
- これは、大綱的な学習到達目標を示すものである。
- 各学校では、それぞれの実情等に応じて、具体的な学習到達目標を定めることを想定している。

なお、高校については、必履修科目である「コミュニケーション英語Ⅰ」等を中心としたものと、より発展的な内容を取り扱う科目の履修を想定したものと2段階を作成した。

■ 国が、能力記述文の形で学習到達目標を示すことで期待される効果

- (1) 各学校：学習指導要領に基づいて目標・指導・評価を設定する際に、文法や語彙等の知識の習得にとどまらず、それらの知識を活用して、4技能の総合的な能力の習得を重視することが期待される。
特に、子供たちの評価が、面接・スピーチ・エッセイ等のパフォーマンス評価など「言語を用いて何ができるか」という観点からなされることが期待される。
- (2) 教員養成課程：子供たちの4技能を伸ばすための指導や評価の方法などの教授が充実されることが期待される。

■ 今後の展開

- 「英語教育改革実施計画」では、小学校の英語教育の教科化や、小・中・高で一貫した学習到達目標の設定を提起しており、この「試案」を検討素材としながら、その実現に向けて検討を進める。
- なお、こうした観点を踏まえ、教科書についても子供たちの言語活動とコミュニケーションを重視した形で編集されたものとなるよう、どのような工夫が可能か検討する。

能力記述文の形で示した国の学習到達目標（試案）

1. 中学校の卒業時

聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然な口調で話されたり読まれたりする短い英語を聞き、その内容を正確に理解することができる。(イ) ・ 質問や指示、依頼や提案などを聞き、その場面や状況、話し手の意向を理解することができる。(ウ) ・ まとまりのある英語を聞き、その全体の概要や内容の要点を理解することができる。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えや気持ち、事実などを、聞き手を意識しながら的確な英語で伝えることができる。(イ) ・ 聞いたことや読んだことなどについてほかの人と話し合い、理解したことを確認したり、意見の交換をしたりすることができる。(ウ) ・ 自分の意見や主張を基に、与えられたテーマについて簡単なスピーチをすることができる。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ある程度の長さの物語を読んであらすじをつかんだり、まとまった内容の説明文を読んで大切な部分を理解したりすることができる。(ウ) ・ 伝言や手紙などを読み、それが書かれた状況や書き手の意向を理解することができる。(エ) ・ ある程度の長さの文章を読み、その内容と自分の経験や考えとの関連、またその主張の優れている点や問題点などをとらえることができる。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞いたことや読んだことについて、感想や賛否、その理由をある程度の長さの英語で書くことができる。(ウ) ・ 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、それらとの関連を明確にしつつ自分の考えや気持ちなどをある程度の長さの英語で書くことができる。(エ) ・ 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりや全体としてのまとまりに注意してある程度の長さの文章を書くことができる。(オ)

((イ)(ウ)等は、学習指導要領に示す言語活動のうち、当該能力記述文に関連するもの)

(参考) 上記の学習到達目標で取り上げていない言語活動（単元の中心的目標となることが想定されにくいもの）

<p>(ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること。</p> <p>(イ) 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること。</p>	<p>(ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。</p> <p>(イ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。</p>	<p>(ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。</p> <p>(イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読したりすること。</p>	<p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p>
---	---	--	--

2. 高等学校の卒業時

(1) 「コミュニケーション英語Ⅰ」等の履修を中心としたもの

聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
<p>【音声】</p> <p>■英語の音声的な特徴（リズムやイントネーションなど）、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞くことができる。</p> <p>【聞き取る内容】</p> <p>■事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要（おおよその内容や全体的な流れ）をとらえることができる。</p> <p>■事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点（必要不可欠な情報や話し手の主な考えなど）をとらえることができる。</p> <p>【聞き方等】</p> <p>■事実と意見などを区別して聞くことができる。</p> <p>□聞いた内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理することができる。</p>	<p>【音声】</p> <p>■英語の音声的な特徴（リズムやイントネーションなど）、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すことができる。</p> <p>【話す内容】</p> <p>■聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。</p> <p>□聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えをまとめ（時系列や重要度の高い順に沿って整理する、比較する、具体例や統計資料を準備するなど）発表することができる。</p> <p>【話し方等】</p> <p>■事実と意見などを区別して話すことができる。</p> <p>□与えられた話題について、即興で話す（互いに質問する、意見を交換する、スピーチをするなど）ことができる。</p> <p>□聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。</p> <p>【表現】</p> <p>□繰り返しを求めたり、言い換えたりするときに必要な表現を活用することができる。</p> <p>□発表の仕方や発表のために必要な表現（導入、順序、例示、話題転換、分析、結論など）を活用することができる。</p> <p>□海外の生活に必要な基本的な表現（空港、ホテル、レストラン等でのやりとり、デパートでの買物で必要となる表現等）を使って会話することができる。</p>	<p>【音声】</p> <p>■説明や物語などを、聞き手の反応を確かめながら、英語の音声的な特徴（リズムやイントネーションなど）、話す速度、声の大きさなどに注意して音読することができる。</p> <p>【読み取る内容】</p> <p>■説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要（おおよその内容や全体的な流れ）をとらえることができる。</p> <p>■説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点（必要不可欠な情報や読み手の主な考えなど）をとらえることができる。</p> <p>【読み方等】</p> <p>■内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。</p> <p>■事実と意見などを区別して読むことができる。</p> <p>□読んだ内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理することができる。</p>	<p>【書く内容】</p> <p>■聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを簡潔に書くことができる。</p> <p>□聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較し、自らの考えをまとめることができる。</p> <p>【書き方等】</p> <p>■内容の要点を示す語句や文（トピック・センテンスなど）、つながりを示す語句（文と文、段落と段落の意味的・文法的なつながりを示す語やフレーズ）などに注意しながら書くことができる。</p> <p>■事実と意見などを区別して書くことができる。</p> <p>□読み手（読み手の知識、興味・関心や態度、年齢など）や目的（情報や知識を与える、説得する、論証する、楽しませる、記録を行うなど）に応じて、簡潔に書くことができる。</p> <p>□書いた内容を校正することができる。</p>

（■は、必修科目「コミュニケーション英語Ⅰ」において全ての高校生に求められる項目）

（□は、選択科目「英語表現Ⅰ」又は「英語会話」において求められる項目）

(2) 「コミュニケーション英語Ⅱ・Ⅲ」等の履修を想定したもの

聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
<p>【聞き取る内容】 <input type="checkbox"/> 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 <input type="checkbox"/> 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの要点をとらえることができる。</p> <p>【聞き方等】 <input type="checkbox"/> 内容の展開（キーワードやトピック・センテンスなど）の内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら聞くことができる。 <input type="checkbox"/> 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことができる。 <input type="checkbox"/> スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッションなどで、話の全体的な流れや話し手が伝えようとする重要なポイントを、必要に応じてメモをとりながら理解することができる。</p>	<p>【話す内容】 <input type="checkbox"/> 聞いたたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを話し合いながら結論をまとめることができる。 <input type="checkbox"/> 聞いたたり読んだりした情報や考えなどについて、自分の意見を理由や根拠、代案とともに述べることができる。 <input type="checkbox"/> スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッションなどで発表を聞き、質問したり意見を述べたりすることができる。 <input type="checkbox"/> ディベートなどで、多様な考え方が可能な話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合うことができる。</p> <p>【話し方等】 <input type="checkbox"/> 与えられた条件（話題、話す時間や量など）に合わせて、即興で話す（スピーチ、ロールプレイを行う、質疑応答するなど）ことができる。 <input type="checkbox"/> 内容の展開（キーワードやトピック・センテンスやつながり）を示す語句などに注意しながら話すことができる。 <input type="checkbox"/> 伝えたい内容を整理して論理的に話す（論理に矛盾や飛躍がなく、適切な論拠をもって筋道の通る主張を展開する）ことができる。</p> <p>【表現】 <input type="checkbox"/> 説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように話すことができる。 <input type="checkbox"/> 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現（自分の意見を主張する、相手の言うことを確認する、賛成する、反論する、付け加える、討論をまとめるなどの表現）を実際に活用することができる。</p>	<p>【音声】 <input type="checkbox"/> 説明、評論、物語、随筆などを、聞き手に伝わるように暗唱する（暗記した英文の意味や書き手の意図などを理解した上で、リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら音声表現する）ことができる。</p> <p>【読み取る内容】 <input type="checkbox"/> 説明、評論、物語、随筆などを速読して、概要や要点を把握したり、必要な情報や考えなどを探したりすることができる。 <input type="checkbox"/> 説明、評論、物語、随筆などを精読して、詳細を理解したり、書かれている情報や考えなどを自分の考えなどと対比させながら読み進めていったりすることができる。 <input type="checkbox"/> 図表そのものや文章全体における図表の役割を的確に読み取ることができる。</p> <p>【読み方等】 <input type="checkbox"/> 英文を読む目的（概要や要点を把握する、必要な情報を探す、詳細を理解する、文章を解釈するなど）をあらかじめ明らかにし、それに応じて読む（速読や精読など）ことができる。 <input type="checkbox"/> 論点や根拠などを明確にしながらか読むことができる。 <input type="checkbox"/> 文章の構成（文と文とのつながり、段落の組み立て方、段落間の関連など）を考えながらか読むことができる。 <input type="checkbox"/> 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら読むことができる。</p>	<p>【書く内容】 <input type="checkbox"/> 聞いたたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどに関し、まとまりのある文章（複数の段落からなる文章など）を書くことができる。 <input type="checkbox"/> 主題を決め、自分の興味・関心に応じた様々な種類の文章を書くことができる。 <input type="checkbox"/> 図表との関連を考えながらか書くことができる。</p> <p>【書き方等】 <input type="checkbox"/> 論点や根拠などを明確にしながらか書くことができる。 <input type="checkbox"/> 文章の構成（文と文とのつながり、段落の組み立て方、段落間の関連など）を考えながらか書くことができる。 <input type="checkbox"/> 書いた内容を読み返して、推敲することができる。</p> <p>【表現】 <input type="checkbox"/> 説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように書くことができる。 <input type="checkbox"/> 図表に示されている内容を表現するための基本的な表現（グラフの数値の増減、改善や悪化の状況を示す表現など）を用いることができる。</p>